

執行役メッセージ

Our Management Team

オリンパスは、事業の持続的な成長と、世界をリードするメドテックカンパニーになるという目標を実現するために、新経営陣が一丸となり、患者さんの安全を最優先に考え、新たな戦略を推進しています。2023年4月からの新組織体制、新経営戦略のもとでの、「Our Purpose」実現に向けた、自身の役割や取り組み、意気込みについて、各執行役からのメッセージをご紹介します。

Executive Chairperson



取締役 代表執行役 会長兼 ESG オフィサー (ESG 担当役員)
竹内 康雄

NEW

Profile: 1980年、オリンパス光学工業株式会社(現 オリンパス株式会社)入社。経理や経営企画の本社部門のみならず、医療やライフサイエンスなどの事業部門の職責を務め、2009年に執行役員に就任。2012年に取締役に就任した後は、北米、アジア太平洋地域、欧州の経営幹部を歴任し、2016年に副社長執行役員、CFO、地域統括会社統括役員に就いた。2019年、取締役代表執行役社長兼CEOに就任。2023年4月より現職。

CEO



取締役 代表執行役 社長兼 CEO (最高経営責任者)
シュテファン・カウフマン

NEW

Profile: ドイツの百貨店Karstadt AGにおいて人材マネジメントの運用や戦略に10年間携わり、その後、Thomas Cookにおいて人事部門の責任者を務めた後、2003年、オリンパスヨーロッパに人事総務マネージャーとして入社。2011年にエグゼクティブマネージングディレクター、2017年に執行役員に就任。2019年に取締役執行役CAOに、2022年には取締役執行役CAO兼CSO兼ESGオフィサーに就任し、2023年4月より現職。

See page 02



私は2019年のCEO就任以降、企業価値の最大化に向けてTransform Olympusの改革と経営戦略を実践してきました。グローバル・メドテックカンパニーへの進化を目指し、当社は2024年3月期より医療事業に専心する企業となりました。より安全で効果的なヘルスケアの製品とサービスを幅広く社会に供給し、ステークホルダーの皆さまからより一層信頼いただけるパートナーとなるべく、世界基準で品質に関するガバナンスを向上させる必要があると考えています。

2023年4月に私は代表執行役および会長に就任し、新CEOのシュテファン・カウフマンと新執行役チームが事業運営を円滑に行えるようにサポートしています。オリンパスは企業価値の源泉を日本に有していることから、文化的背景を踏まえ私が説明責任を担う重要な場面があると考えており、CEOと連携してステークホルダーの皆さまとコミュニケーションを図ってまいります。

企業が持続可能であるためには、社会課題を解決する活動が日常業務に組み込まれていることが必要です。このような認識のもと、私は当社のESGを経営戦略に統合することで、当社を持続可能な企業とすることを目指してまいります。

内視鏡医療の新時代を創成：医療水準を向上させるために、AI技術を活用したインテリジェント内視鏡医療エコシステムを患者さんと医療提供者に提供します

オリンパスは内視鏡医療のリーダーとして革新的な医療機器とケア・パスウェイに沿ったサービスにより内視鏡医療の水準を向上させてきました。しかし慢性疾患の増加と高齢化の進展を受け、医療現場ではより良い治療成果をより多くの人に届けると同時に、医療提供者と患者さんのエクスペリエンスを向上、さらに医療コストを抑えるという課題に直面しています。そこで当社はより良い臨床上の意思決定と事務作業負荷の軽減、また安全性と品質管理の強化、そして顧客中心の製品化を実現するためのAIを活用したコグニティブサポートを可能にするインテリジェント内視鏡医療エコシステムを通じて、患者さんと医療提供者をサポートしたいと考えています。私は当社のインテリジェント内視鏡医療エコシステムの成長に向けたイノベーションを開始したことを嬉しく思っています。内視鏡事業ではネットワーク可能な内視鏡システムの開発から、統合したソフトウェアアーキテクチャと製品、サービスソリューションの開発まで、内視鏡の新時代のビジョンを形にしていきます。

Profile: 1993年、オリンパスヨーロッパの内視鏡部門のプロダクトマネージャーとしてキャリアをスタート。その後、営業およびマーケティングのポジションにて経験を積み、製品ポートフォリオを着実に発展させた。2019年、同エグゼクティブマネージングディレクターに就任。2020年より執行役員 エンドスコピックソリューションズディビジョンヘッド(内視鏡事業担当役員)を務めたのち、2023年4月より現職。

ESD Head



執行役 エンドスコピックソリューションズディビジョンヘッド (最高内視鏡事業責任者)
フランク・ドレバロウスキー

NEW

低侵襲シングルユースソリューションの開発を加速し、オリンパスの文化を進化させます

品質と患者さんの安全は、オリンパスにおけるあらゆる意思決定のベースとなるものであり、私の優先事項は、新経営戦略に基づいて治療機器事業を一つのチームとしてまとめることです。低侵襲シングルユースデバイスに焦点を当てることで、当社は従来の内視鏡医療の枠を超えて、ポートフォリオを拡大する大きな機会があります。私たちの使命は、注力領域のケア・パスウェイ全体にわたって、臨床的および経済的に差別化されたソリューションを患者さんに提供し、イノベーションを促進することです。研究開発のケイパビリティを高め、インオーガニックに製品パイプラインを強化し、グローバルに販売を拡大していきたいと考えています。そのためには、世界中のチームメンバーが適切にリスクテイクし、俊敏に行動することが重要です。また、私はオリンパス初の女性執行役として、ダイバーシティとリーダーシップポジションにおける女性の活躍推進にも注力したいと思います。多様性に富んだチームが結束し、意欲的に取り組むことが成功の鍵であり、シングルユース製品の領域において卓越し、医療水準を向上させていきます。

Profile: Acclarent社、Covidien社(現 Cardinal Health社)、ジョンソン・エンド・ジョンソン社において、オペレーション、サプライチェーン、エンジニアリングなどの職務を経験した後、2016年、オリンパスアメリカ入社、戦略策定&ポートフォリオマネジメントエグゼクティブディレクターに就任。複数の職務を経て、2020年にはセラピューティックソリューションズディビジョンヘッド(治療機器事業担当)に就任。2023年4月より現職。

TSD Head



執行役 セラピューティックソリューションズディビジョンヘッド (最高治療機器事業責任者)
ガブリエラ・ケイナー

NEW

執行役 チーフファイナンシャルオフィサー(最高財務責任者) 武田 睦史

CFO

Profile: アステラス製薬株式会社にて30年以上にわたり勤務し、財務計画・分析、ビジネスディベロップメント、コーポレートガバナンスなどの業務に携わる。上席執行役員 CFO 兼 グローバル調達部長を経て、2020年、オリンパス株式会社に入社し、現職に就任。企業価値の最大化を図り、患者さんを中心とした活動に注力するためのリソースアロケーションを重要視。

See page 28

執行役メッセージ

真のグローバル・メドテックリーダーになるために新経営戦略を推進し、
将来のグローバルオペレーティングモデルを構築します

私は、すべてのステークホルダーと緊密に連携して、真のグローバル・メドテックリーダーとしての目標に向かって新経営戦略を推進していきます。CSOの職務には、地域統括役員のマネジメント、当社の将来のグローバルオペレーティングモデルの構築、事業戦略の推進、およびM&A活動も含まれます。これらの取り組みにより、当社は患者さんの安全、イノベーション、生産性の向上により一層フォーカスします。また、人材育成、健やかな組織文化、DEI*を実現するための取り組みも積極的に行っていきます。当社では、医療提供者の皆さまとの信頼関係を強化し、適切なリソースを適切な分野に配分できるよう、会社の優先事項を継続的に見直していきます。患者さんの安全と医療水準の向上を最優先に考え、オリンパスが顧客の期待に応えられるよう努めてまいります。

Profile: ITおよび一般消費者向け電子機器製品業界において役職を歴任した後、2001年、オリンパススペイン(現 オリンパスイベリア)のイベリアリージョンマネージングディレクターとしてオリンパスに入社。2015年にオリンパスアメリカのCEO、2017年に執行役員に就任した後、2019年に米州統括役員および治療機器事業担当役員、2020年に執行役COOに就任した。2023年4月より現職。

* ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

CMSO

オリンパスの基盤である「ものづくり」を
「価値づくり」に進化させていきます



執行役 チーフマニュファクチャリング
アンドサプライオフィサー
(最高製造供給責任者)

小林 哲男

私は、オリンパスのオペレーションの中核を担う各機能を取りまとめるCMSOとして、米国食品医薬品局(FDA)からの警告書で指摘された事項に対する課題解決と、機能間で調和したプロセスを備える統合したグローバル品質システムの導入に注力し、リソースを投入していきます。また、健やかな組織文化に重点を置き、さまざまな改善活動と従業員のエンゲージメント向上の両立を目指します。機能横断的な連携やデジタル化、製品の品質と安全性を強化し、責任と信頼性のあるサプライチェーンの構築、プロセスの標準化によるコストの抑制を実現することにより、当社の基盤を「ものづくり」から「価値の創造」を意味する「価値づくり」に進化させていきます。

Profile: 1983年オリンパス光学工業株式会社(現 オリンパス株式会社)入社。製造管理のスペシャリストとしてキャリアをスタート。米国やシンガポールで国際経験を積み、帰国後はオリンパスの医療分野や事業改革の分野で数々の管理職を歴任。2016年にCFO付担当役員、2019年にCEO統括室のシニアバイスプレジデント、2021年にCSOに就任。2022年より現職。

新しいソリューションを創出し、より良い臨床成果と
顧客エクスペリエンスの向上によって、価値を創造します

私たちは、医療水準を向上させる製品、手技、サービスのための新しいソリューションを創出し、世界をリードする俊敏な研究開発組織になることを目指しています。患者さんの安全と製品の品質を最優先に、注力領域に集中投資を行い、パフォーマンスの高い健やかな組織を確立し、効率的かつ確実に研究開発を実行していきます。また既存の製品ポートフォリオに加えて、シングルユース内視鏡、デジタルソリューション、先進的なエンドルミナル手術等の開発にも取り組んでおり、顧客のアンメットニーズを満たし、臨床成果、顧客エクスペリエンスを向上させることによって、今後も価値を創造していきます。

Profile: 2004年、それまでCTOを務めていたドイツのCelon AGをオリンパスが買収したことに伴い、オリンパスに入社。その後、2012年から2021年まで欧州における開発、製造、修理部門を指揮。2019年からは治療機器事業の開発グローバルヘッドを兼務。その後、オペレーショングループ統括のグローバルヘッドに就任、2022年より現職。

CSO



執行役 チーフストラテジーオフィサー
(最高経営戦略統括責任者)

ナチョ・アピア

NEW

健やかな組織文化を実現し、社員一人ひとりの成長を促進することで、
オリンパスの持続的成長につなげていきます

CHROとしてHRの多様な側面からビジネスをサポートするべく、採用、人材配置、評価、育成等、一連のタレントマネジメントのグローバル化を推進しています。2023年5月、グローバル人事評価制度とシステムを導入し、グローバルで統一したパフォーマンス管理が可能となりました。2024年3月期には全従業員が「患者さんの安全」に焦点を当てた共通の目標を設定し、これを人事評価に反映します。日本においては2023年4月、職務型人事制度の適用を全従業員に拡大しました。社員一人ひとりの成長や自律的なキャリア構築を促進するため、人材育成をより一層強化していきたいと考えています。これらの取り組みに加えて、DEI*を実現する取り組み等を加速することにより、健やかな組織文化を醸成し、オリンパスの持続的な成長につなげていきます。

Profile: 1984年に日立製作所に入社、同社人事部にてキャリアをスタート。その後ゼネラル・エレクトリックの人事マネージャー、ヒューレット・パカードにおける日本の人事統括本部長やアジア太平洋地域の人事統括、資生堂の執行役員人事部長を経て、2019年にオリンパスに入社。2020年に人事・総務担当役員に就任し、2023年4月より現職。

* ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン

CHRO



執行役 チーフヒューマンリソースズオフィサー
(最高人事総務責任者)

大月 重人

NEW

CQO

グローバル・メドテックカンパニーとしてグローバルで統一された
品質保証・法規制対応(QARA)の組織体制へ変革します



執行役 チーフクオリティオフィサー
(最高品質法規制責任者)

ピエール・ポワシエ

NEW

私の役割は、当社が事業を展開する市場で適用されるすべての規制を遵守しつつ、患者さんの安全と製品の品質を最優先に、高い顧客満足度を維持することです。これらの目標の達成に向けて、業務プロセスをグローバルな水準へと引き上げるために、グローバルで統一されるQARAの組織体制へ変革するとともに、経験豊富なメドテックのリーダーやメンバーを採用しています。また、私たちはグローバル・メドテックカンパニーへと変革するために3つの重点施策に取り組んでいます。まず製品の製造拠点や設計拠点における、規制への対応や顕在化した課題の解決です。次に、当社全体の業務プロセスを標準化し、統合した品質管理システムをグローバルで構築すること、そして、精密機器メーカーから真のメドテックカンパニーになるためのグローバルな品質改革です。これらの施策によって、QARAの課題を解決し、製品の品質、法令遵守の双方において、目指すべき水準の達成に努めています。

Profile: 製造現場にて生産技術者としてキャリアをスタートし、さまざまな企業で幹部レベルのポジションを歴任した後、2021年、CQO(品質法規制担当役員)としてオリンパス株式会社に入社。2023年4月より現職。Boston Scientific社やBecton Dickinson社などにおいて、20年以上にわたり品質管理を指揮した実績を含め、品質、オペレーション、研究開発、薬事に関する職務において35年以上にもおよぶ経験を持つ。